

令和6年度愛媛県教育文化賞受賞者について

[愛媛県教育文化賞とは]

愛媛県教育文化賞は、教育、科学、芸術等について、本県文化の向上発展に、特に功績著しい個人又は団体について顕彰するものです。昭和27年以来、本年度を含めたこれまでの受賞者は、個人204名及び団体2団体となっています。

令和6年度愛媛県教育文化賞の表彰式が、令和6年11月3日文化の日に愛媛県庁正庁で行われ、本県の教育文化の向上発展に、特に功績著しい次の3名が受賞されました。

ふりがな 氏名 (在住市町) 年齢	功績概要	主要経歴
さかもと じゅんこ 坂本 淳子 (松山市) 89歳	<p>(芸術文化) 昭和39年の設立当初から愛媛県三曲協会に役員として参画されて以来、長きにわたり本県における三曲の普及・発展に尽力されました。 特に、平成10年には、愛媛県三曲協会副会長に就任、平成30年からは、同協会の会長として流派の異なる加盟団体をまとめ、組織の運営に当たるとともに、次代を担う子どもたちによる発表を組み込んだ演奏会や、県内アマチュア文化の祭典である県民総合文化祭において他分野の団体と連携した公演を開催するなど、演奏技術の向上や三曲文化の継承に寄与された功績は高く評価されています。 また、昭和47年から箏曲宮城会「潮の会」を主宰し、現在に至るまで箏曲の普及と後進の育成に尽力されており、本県の芸術文化の振興に多大な貢献をされました。</p>	(元) 愛媛県三曲協会副会長 (元) 愛媛県三曲協会会長 (現) 愛媛県三曲協会相談役 (現) 箏曲宮城会「潮の会」主宰 (元) 箏曲宮城会理事 (元) 箏曲宮城会四国支部長 (現) 箏曲宮城会四国支部顧問
いっしき ひかる 一色 光 (松山市) 76歳	<p>(学校教育) 昭和45年、公立小学校教諭に奉職されて以来、卓越した教育的見識を発揮し、児童を中心に据えた温かい教育を実践するとともに、保護者・地域と一体となった学校教育の推進に尽力されました。 特に、愛媛県教育委員会事務局指導部長として、円滑な教育行政の推進に尽力されたほか、愛媛県小中学校長会会長として、県内の義務教育の充実発展に寄与された功績は高く評価されています。 また、退職後の平成27年からは、愛媛県教育会理事長として、「えひめ教育の日」推進大会・フェスティバルを通じて教育に対する県民の意識・関心を高める普及・啓発活動のほか、教職員の教育実践や資質の向上、生涯学習支援に尽力されるなど、本県の教育の充実発展に多大な貢献をされました。</p>	(元) 愛媛県教育委員会事務局義務教育課長 (元) 愛媛県教育委員会事務局指導部長 (元) 公立小学校長 (元) 愛媛県小中学校長会会長 (元) 愛媛県教育会副理事長 (元) 愛媛県PTA連合会副会長 (元) 愛媛県教育会理事長
いしぐる ただのり 石黒 忠則 (四国中央市) 70歳	<p>(社会教育) 平成元年から35年の長きにわたり愛護班活動に携わり、「分け隔てなく地域で子どもを育てる」ことを信条とし、たくましく心豊かな子どもの育成と青少年の健全育成に尽力されました。 特に、200名以上が参加する「親子ふれあいフェア」を毎年開催するなど、家庭や地域の教育力を高める愛護班活動の推進に寄与された功績は高く評価されています。 また、平成26年からは、愛媛県愛護班連絡協議会の会長として、愛護班活動における長年の経験を県内各地に伝えるため、地区別研究集会等で後進の育成に努めるとともに、愛媛県愛護班研究大会の開催に中心的役割を果たすなど、愛護班連絡協議会の充実発展及び本県の社会教育の振興に多大な貢献をされました。</p>	(現) 川之江地区愛護班連絡協議会会長 (元) 四国中央市愛護班連絡協議会副会長 (元) 川之江地域愛護班連絡協議会会長 (現) 四国中央市愛護班連絡協議会会長 (現) 愛媛県愛護班連絡協議会会長